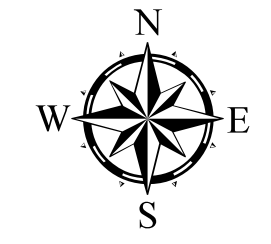
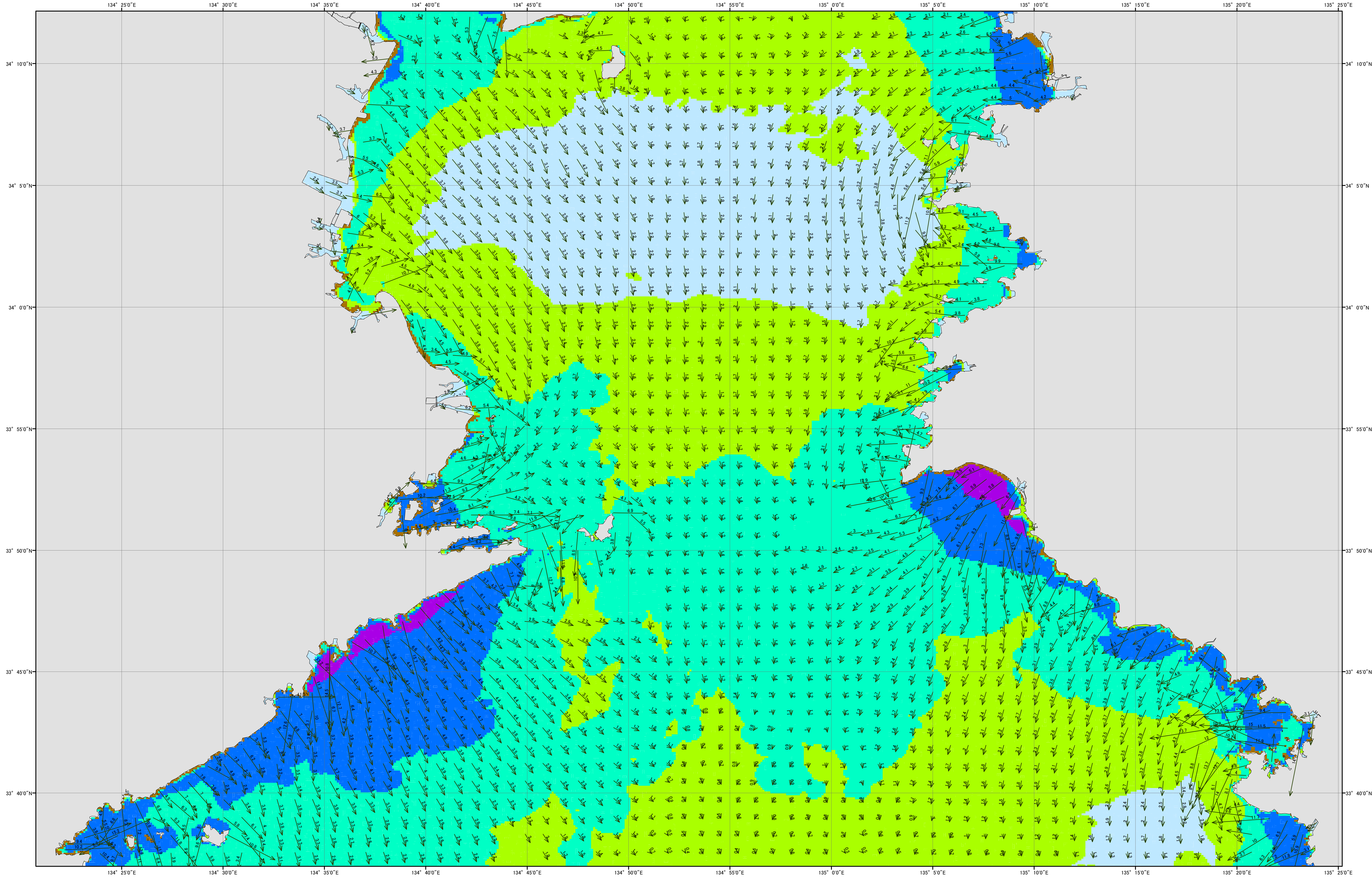


# 紀伊水道南部 広域津波防災情報図 (引潮図)

計算条件： 最低水面（零位）  
 隆起量： 平均 -1.14m (-2.02m ~ -0.22m)  
 Zo： 1.10m  
 備考： 本図のシミュレーション結果は、震源の位置、規模、細かな地形などの影響により、実際のものとは異なることがある。



座標系：JGD2011  
 投影法：横断等角投影法  
 基準面：世界平均海面(WGS84)



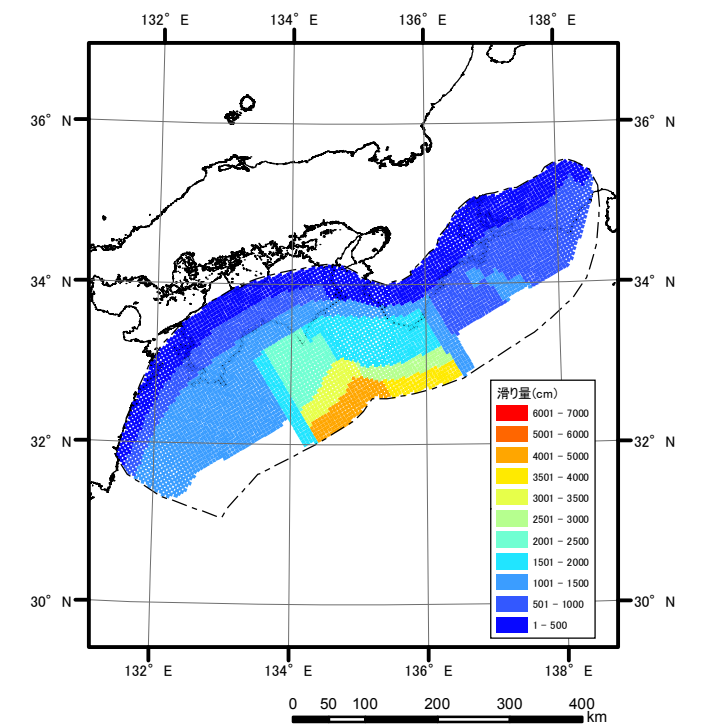
## 凡例

- 最大水位低下
- 10~最大16.0m
  - 5~10m
  - 3~5m
  - 2~3m
  - 0.5~2m
  - 0.5未満
  - 露出域

- 引潮時最大流 [knot]
- 6 knot
  - 4 knot
  - 2 knot

○ 防護施設は、津波の越流と同時に破壊されるものとして計算している。

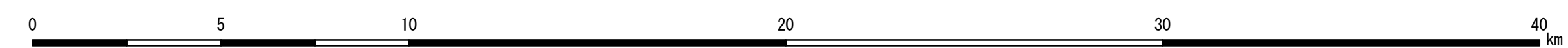
### 断層モデル



ケース③「紀伊半島沖～四国沖に『大すべり域+超大すべり域』」

断層面積 S (km <sup>2</sup> )	140,000
地震モーメント Mo (N·m)	6.4 × 10 <sup>27</sup>
平均すべり量 D (m)	10.9
モーメントマグニチュード Mw	9.1

本断層モデルは、内閣府の「南海トラフの巨大地震モデル検討会（第二次報告）」（平成24年8月29日発表）」により公表されたものである。



○ 本図の作成にあたっては、「津波解析支援GISシステム (ArcGIS 10 対応)」を使用した。  
 ○ 本図の作成にあたっては、以下の資料を使用した。  
 ・海上保安庁が保有する水深データ  
 ・基礎地図情報5mメッシュ（標高）及び10mメッシュ（標高）（国土地理院発行 国土地理院長承認 承認番号 平24情使、第911号 平成25年3月29日）